

日本でしかできない中医学

熊本赤十字病院 総合内科
加島雅之

中医学は世界的な広がりを見せているが、ここにいくつかの不安がある。

日本は約 1500 年にわたって中国医学を流入・学習し続けているが、その歴史の中で、中国医学を十分に吸収・消化しきれてきたと言えるだろうか？

勿論、長い歴史の中では曲直瀬道三や北山友松子、香月牛山など中国医学をあるいは当時の中国人以上に理解・応用できた天才的人物もいたが、多くの医師にとってそれは困難であった。それは、中国医学にはその発想を裏打ちする自然観や感覚がその運用に重要な点であることと無関係ではない。

言語や文化をある程度受け入れている日本ですらそうであることを考えると、他の非東アジア文化圏の国々での中医学の発展・応用は困難を極めることが予想される。それを解決するためにも、日本での中国医学の受容の在り方をその方法及び問題点を含めて理解、研究することが、必要であろう。そうすることで、中医学が世界医学になるための大きなヒントが見いだされるとともに、中華文化圏以外で中医学を発展させることができるようになると考える。